

'12 佐々木美智子バレエ団公演



SASAKI
Ballet

八尾プリズムホール

近鉄大阪線八尾駅前 / TEL 072-924-5111

2012年8月16日(木)

【開場】18:00 【開演】18:30



芸術文化振興基金助成事業

後援：公益社団法人 日本バレエ協会関西支部

Greeting & Staff

ごあいさつ・スタッフ

お盆休み中のお墓参りや里帰り、家族旅行等、ご多忙でお疲れの所をやりくりしてお出まし頂き、誠に有難うございます。

本日の公演に先立ち、この5月に美智子が大阪府知事表彰を、又、佐々木大が橘秋子賞優秀賞と、親子で賞を賜わり、15回目という節目の公演が実によるこぼしいものとなりました。

これも、あらゆる方々の大きなお力添えのお陰と、心より深くお礼を申し上げます。

全幕物が続きましたので、今年は何をしようか?と私なりに深慮して「エ〜イ」と思い切って創作集に挑戦しました。振付には漲り溢れんばかりの独自の感性と個性を持ち、又、尋常でない指導力を兼ね備えておられる篠原聖一氏、石原完二氏、矢上恵子女史の素晴らしいお三方をお願いをしました。

・これで「ワ〜イ」とっても素敵な舞台になるゾっともうウキウキワクワク心ときめいたぜ〜〜エ。

……所が、これが何と甘い考えだったのか。

お三方の振付者やゲストダンサーのスケジュール調整はもとより、新作でしかも複雑で難解な踊りになかなか馴染めずついていけず、身体のアチコチの痛みは勿論、頭も心も大パニック。おもちゃ箱を引っくり返してもこうはなるまい。まるで、真冬に台風が来た様な具合で、

「ウエ〜」参ったな、これはとんでもない事に挑んでしまったなど、後悔する事しきり。

しかし7月半ばあたりから、振付の先生方が次回お越し下さる迄には、少しでも「整いました」と言える様に教師陣は一層懸命に、団員達も自分の事以外に、覚えの遅く運動神経の鈍いジュニア達に「あまだこうだ さぁもう一回」と何度も何度も熱く細かく執拗なまで指導してくれたのです。するとどうでしょう、何とか様になってきているではありませんか。心が一つになるってこういう事なのではないでしょうか。

鬼の目にも涙、胸キュンとさせてくれた皆に心の中でこうべを垂れました。ほんとうに有難うネ。

ここ十何年、佐々木の舞台には欠かせぬ聖一先生、由理恵先生、恵子先生、小原さん。お初の完二先生、そして「どうだ」と言わんばかりの選り抜きの男性ゲストダンサー諸君。装置や衣装を快くお貸し下さった法村友井バレエ団、石原完二モダンダンス・スタジオ、K・バレエスタジオ、そして各スタッフ諸氏に、ご父兄の方々、色々とお世話になりました。

皆の苦勞と努力の結集した本公演。「面白かっただろ〜オ」といっても過言ではないと感じ、お盆休みの楽しかった思い出として頂ければ幸いです。

8月吉日



佐々木 美智子
MICHIKO SASAKI

スタッフ Staff

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ■ 芸術監督……佐々木 美智子 | ■ 写真撮影……(有)テス大阪 |
| ■ 舞台監督……藤森 秀彦 (有)ウォーター・マインド | ■ ビデオ撮影……(株)ビデオエイベックス |
| ■ 照明操作……楳木 実 (株)大阪共立 | ■ プログラム制作……ホットデザインルーム |
| ■ 舞台装置……法村友井バレエ団 | ■ 助 成……芸術文化振興基金 |
| ■ 舞台操作……(有)ウォーター・マインド | ■ 後 援……公益社団法人 日本バレエ協会関西支部 |
| ■ 音 響……須川 由樹 (有)T&Crew | ■ 表紙写真提供……(有)テス大阪 |
| ■ 衣 装……K★バレエスタジオ／法村友井バレエ団 | |
| 石原完二モダンダンス・スタジオ | |
| コスチューム・スヤコ／佐々木美智子バレエ団 | |



芸術文化振興基金助成事業

第1部

オクターヴ —駆け抜けてゆく夏—

振付 石原 完二

むせ返るような暑い夏、若いエネルギーの増大、止められない感情の爆発。
そこに娘の姿を見た時、男は複雑な感覚を抱き、戸惑うのであった。

村田 晶子	和田 陽子	角井 志帆	森田 綾	松村 知佳
河崎 雅美	池上 翔子	杉前 玲美	片山佳菜子	境井 友萌
河野 瑞季	杉井 愛	佐々木夢奈	河鱈 真世	
中原 美紀	石島 日和	松田 里央	菊山 玲子	森田 聖菜
小原 夏音	伊藤 彩乃	林 七海	川野 彩恵	松本穂乃佳
佐々木 嶺	坂本 凜花	佐々木須弥奈		
佐々木 大	青木 崇	原田 祥博	末原 雅広	
内田 卓	榎本 心	椎山 一輝		



石原 完二
KANJI ISHIHARA

佐々木美智子先生、'12佐々木美智子バレエ団御公演おめでとうございます。佐々木先生との出会いというのは、本当に不思議なもので、昨年京都での公演で、私が大さんに出演依頼をしたところ、心良く引き受けて頂き、とても印象に残る良い踊りをしていただいた、というようなそんな出会いから始まりました。ずい分以前より大さんの舞台は見ていたのですが、いつも詩が紡ぎ出されてゆくような、個性が光り、又、華やかな中にも時折見せる憂いのある大さんのダンス、そこがとても魅力的に感じていたので、今回「オクターヴ」でも、男のナイーブで繊細な部分が出せたらと思っています。私の作品を初めて踊ってくださるバレエ団の皆様、そして素晴らしいゲストの男性達、どうぞ舞台上で輝ける星であります事を祈っております。

Profile

(社)現代舞踊協会会員
(公・財)京都市芸術文化協会会員
全京都洋舞協議会会員

1980年 京都市芸術新人賞受賞
1981年 東京新聞主催全国舞踊コンクール入賞
1983年 文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに一年間留学
1993年 河上鈴子記念現代舞踊フェスティバル優秀賞受賞
1995年 現代舞踊協会制定平成7年度奨励賞受賞
1997年 こうべ全国洋舞コンクール創作部門第一位最優秀賞受賞

■主な作品

「沈黙の叫び」「亡命者」「バリ解放後」「永訣の朝」「KARASU」「アテテュード」「GATE」「夢つづり」「乱気流」等
又、国際コンクールにおける受賞者のコンテンポラリー部門の振付を、数多く手掛けている
海外公演として、「アメリカ・ドイツ・フランス・スウェーデン・ブラジル・インド・イギリス」などに参加
現在、京都において石原完二モダンダンス・スタジオを主宰し、後進の指導、創作活動に力を注いでいる

第2部

Dorso

振付 矢上 恵子

二宮 昌子 板東ゆう子 水口 早織 三澤喜梨香 杉前 玲美

鶴岡 千尋 佐々木夢奈 河鱒 真世 松田 里央 石島 日和

佐々木 嶺

福岡 雄大 福田 圭吾 福田 紘也



矢上 恵子
KEIKO YAGAMI

第15回公演おめでとうございます。

今年は1月発表会と本日の公演の2作品とダンサーは大変だったと思いますが、頑張っけて付いて来てくれました。今回は新しくjrダンサーも入って居ます。子供の頃、格好良い大人に成りたく、模索観察していました。今大人に成って「心は5~8歳ですが(笑)」どう成って居るか、又どの様に他人様から見られるのか、自分の事ですが分かりません…人生後半戦に入った今は有るがままの自分を磨いて行きたいと思います。

Dorso-ドルソ(背中)いつも頑張っけて踊っけてくれるダンサー、わがままを聞いてくれる、スタッフ、ご父兄の皆さん、そして美智子先生いつも、ありがとうございます。感謝しています。

Profile

貝谷八百子・加美早苗に師事

1988年 Kチェンバーカンパニー結成後、韓国公演開催

1994年 パニョレ国際振付賞国内推薦会に選ばれ出演

1995年 より海外・国内コンクールコンテンポラリー作品を振付ける

1999年 世界バレエ&モダンダンスコンクールにて特別振付賞受賞

韓国国立バレエ団に日本人女性振付家として初めて招聘されレパートリーとなる

ラトビア・バレエフェスティバルにも日本より初めて招待され出展

2003年 松山バレエ団芸術奨励賞受賞・文化庁在外特別研修員としてオランダ・HET NATIONALに派遣される

2008年 23rd International Ballet Competition-Varna 2008

3位受賞者作品「Bourbier」にて振付賞受賞

2009年 日本バレエ協会公演 第48回バレエフェスティバル「Bourbier」出展

2010年 Professional Dancers Association第1回公演新作振付、また日本舞踊・花柳基主催公演「基の会」にて新作振付

第3部

シェヘラザード

演出・振付 篠原 聖一
作曲 リムスキー・コルサコフ

ソベイダ	下村由理恵				
金の奴隷	佐々木 大	千夜一夜物語より材を取り、異国情緒たっぷりのアラビアの宮殿の悲劇物語です			
リアル王	小原 孝司				
ゼマン王(リアル王の弟)	福田 紘也				
宦官	末原 雅広				
オダリスク	杉原小麻里	佐々木美織	山本 悦子	二宮 昌子	
アルメンア	板東ゆう子	角井 志帆	水口 早織	三澤喜梨香	松村 知佳
銀の奴隷	青木 崇	福岡 雄大	福田 圭吾	原田 祥博	
銅の奴隷	内田 卓	榎本 心	椎山 一輝		
ハーレムの女	村田 晶子	和田 陽子	森田 綾	池上 翔子	河崎 雅美
	鶴岡 千尋	境井 友萌	片山佳菜子	河野 瑞季	杉井 愛
	中原 美紀	菊山 玲子			
兵士	宮司 知英	大西 慎哉	北原 光		



篠原 聖一
SEIICHI SHINOHARA

佐々木美智子バレエ団公演おめでとうございます。今年は3作品を上演することになり、その中の1作品を出品させていただきます。今回もこのような機会をいただき、心より感謝しております。

何回かバレエ団のみな様と作品を創ることが出来て、ダンサーの個性も知ることが出来て、バレエ団での仕事もなれてきました。作品を創っていく段階で、考えがうまく表現出来なかつたり、振りがなかなか出てこなかつたり、様々な状況がありますが、バレエ団のみなさんはいやな顔一つせず、良き日も悪き日も、ともに生きてくれますのは、とても、私の心の安定にとってプラスになっております。

さきず、美智子先生の心の広さにつつまれて仕事が出来ることが、とても楽しい時を刻むことになっている要因だと思っております。今回上演するシェヘラザードは、美智子先生が好きな作品の一つで、作ってほしいと言われて実現いたしました。私にとっては難しい作品でしたが、私なりのマイ・シェヘラザードが出来たと思います。

今回は死をも恐れぬ”愛の力”を感じていただきたいと思います。楽しんでいただけたらと思っております。

Profile

札幌生まれ 3歳より両親(篠原邦幸・沙原聖子)の元でバレエを始める
1973年 小林紀子バレエ・シアター旗揚げ公演に参加、同シアター入団
1978年 日本バレエ協会公演新人賞受賞
1978~ 文化庁派遣在外研修員としてモナコに留学
1979年 フランスナンシーバレエ団にてゲスト・ダンサーとして活躍し、帰国
1985年 フリーとなり、日本を代表するダンス・ル・ノーブルとしてクラシックバレエの規範を体現する「王子らしい王子」として活躍しながら、古典バレエの再振付を手がける一方オリジナル創作作品を発表
1997年 文化庁派遣在外研修員としてサンフランシスコバレエ団、

ネザーランド・ダンスシアターにて、振付を研修。近年は、数々の公演芸術監督も務め、多彩な活躍を展開。演出・振付家としてますますの活躍が期待されている
2002年 第28回橘秋子賞、優秀賞に選ばれた
2006年 文化庁芸術祭大賞受賞
(篠原聖一バレエリサイタル「Dance for Life」ロミオとジュリエット(全幕)において)
2007年 東京新聞主催全国舞踊コンクール優秀指導者賞
2009年 第35回橘秋子賞特別賞受賞
現在、ダンサー、芸術監督、振付家、指導者として全国で幅広く活動中。日本バレエ協会理事